

科目区分	履修科目	配当 年次	単位数		
			必修	選択	
共通科目	保健医療学特論	1 前	2		
	医療倫理学特論	1 前	2		
	医療社会学特論	1 後		2	
	生涯教育特論	1 後		2	
	英語講読	1 前		2	
	研究特論	1 前	2		
	医療管理学特論	1 前		2	
	形態機能・病態学特論	1 後		2	
	家族ケア特論	1 前		2	
	多職種協働・地域連携特論	1 後	2		
	看護教育特論	1 後		2	
	看護理論	1 前		2	
	コンサルテーション論	1 後		2	
	フィジカルアセスメント	1 前		2	
	臨床薬理学	1 後		2	
小計(15科目)			8	22	
専門科目	健康増進・予防領域	在宅・公衆衛生学特論Ⅰ	1 前		2
		在宅・公衆衛生学特論Ⅱ	1 前		2
		在宅・公衆衛生学演習	1 後		4
		女性保健学特論Ⅰ	1 前		2
		女性保健学特論Ⅱ	1 前		2
		女性保健学演習	1 後		4
		精神保健医療学特論Ⅰ	1 前		2
		精神保健医療学特論Ⅱ	1 前		2
		精神保健医療学演習	1 後		4
		生活支援医療学特論Ⅰ	1 前		2
		生活支援医療学特論Ⅱ	1 前		2
		生活支援医療学特論Ⅲ	1 前		2
		生活支援医療学演習Ⅰ	1 後		4
		生活支援医療学演習Ⅱ	1 後		4
		がん看護学特論Ⅰ	1 前		2
		がん看護学特論Ⅱ	1 後		2
		がん看護学特論Ⅲ	1 後		2
		がん看護学特論Ⅳ	1 後		2
		がん看護学特論Ⅴ	1 後		2
		がん看護学演習Ⅰ	1 前		2
		がん看護学演習Ⅱ	1 前		2
		がん看護学実習Ⅰ	1 後		2
		がん看護学実習Ⅱ	2 前		4
		がん看護学実習Ⅲ	2 前		4
健康増進・予防領域(24科目) 小計			0	62	
心身機能回復領域	心身機能回復領域	運動・動作制御学特論	1 前		2
		運動・動作制御学演習	1 後		4
		呼吸循環機能学特論	1 前		2
		呼吸循環機能学演習	1 後		4
		運動機能回復学特論	1 前		2
		運動機能回復学演習	1 後		4
		脳機能回復学特論	1 前		2
		脳機能回復学演習	1 後		4
心身機能回復領域(8科目) 小計			0	24	

	助産学領域	助産学概論	1 前	2
		助産学特論 I	1 通	4
		助産学特論 II	1 通	6
		地域・国際助産学特論	1 前	2
		助産管理・経営学	1 前	2
		母乳育児支援論	1 後	1
		比較文化助産論	2 前	1
		助産学教育・研究・実践論	2 前	1
		助産学演習 I	1 前	2
		助産学演習 II	1 前～2 前	2
		助産学実習 I	1 前	2
		助産学実習 II	1 後～2 前	8
		助産学実習 III	2 前	1
	助産学領域(13 科目) 小計		0	34
	専門科目 計		0	120
特別研究科目	健康増進・予防特別研究	1～2 通	10	
	心身機能回復特別研究	1～2 通	10	
	助産学特別研究	1～2 通	10	
	小 計(3 科目)		0	30
修了要件	<p>(修了要件) 学位取得にあたっては、以下の通りとする。</p> <p>【修士(保健医療学)】 共通科目から 12 単位以上(必修科目 8 単位、選択科目 4 単位以上)、専門科目から 10 単位以上(選択した特別研究に係る研究領域の特論科目 2 単位以上・演習科目 4 単位以上)、特別研究科目から 10 単位を履修し、合計 32 単位以上を取得するとともに、必要な研究指導を受けた上で、本研究科が実施する修士論文審査及び最終試験に合格すること。 また、助産師国家試験受験資格を取得する者は、上記に加え、助産学領域の選択科目 13 科目 34 単位の内、「助産学教育・研究・実践論」科目を除く 12 科目 33 単位を取得すること。</p> <p>※ なお、高度実践看護師(がん看護)の受験資格を取得する者は、共通科目の「保健医療学特論」、「医療倫理学特論」、「研究特論」、「医療管理学特論」、「看護教育特論」、「看護理論」、「コンサルテーション論」の中から 8 単位を履修し、かつ、「形態機能・病態学特論」、「フィジカルアセスメント」、「臨床薬理学」の 6 単位を履修する。 専門科目からは「がん看護学特論 I～V」、「がん看護学演習 I～II」、「がん看護学実習 I～III」の 24 単位を履修すること。</p>			